

## 平成25年度福生市次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況について

## 1 概要

平成26年6月30日に開催した、平成26年度第3回福生市子ども・子育て審議会時に、平成25年度福生市次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況結果について、指摘事項を基に次のとおり平成25年度事業実績を修正・追記しましたので、報告いたします。

また、平成27年度から実施する、福生市子ども・子育て支援事業計画における評価方法につきましては、現在の問題点、課題等を整理した上で改善いたします。

## 2 修正・追記箇所（修正・追記があった事業のみ掲載しています。）

## I 目標1 家庭・地域における子育ての支援

【評価】 A:実施率90%以上  
B:実施率50~90%  
C:実施率50%未満

施策の方向3 要保護児童等への対応などきめ細やかな取組みの推進  
基本施策2 ひとり親家庭等の自立支援の推進

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課（所管）
8	母子家庭自立支援教育訓練給付金	母子家庭の母の主体的な能力開発の取組みを支援するために、就業を目的とした教育訓練に関する講座を受講し、修了した場合受講料の一部を支給します。	継続	申請者1人、支給者数2人 (平成24年度申請者1名 ※平成25年度継続者)	A		子育て支援課

## II 目標2 母と子の健康を守り増進する

施策の方向1 子どもや母親の健康の確保

基本施策1 妊娠・出産・育児に対する不安の解消

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課（所管）
1	母子健康手帳交付	母子健康手帳交付時に妊産婦の個々のケースに応じた相談指導を実施します。	継続	妊娠届出をした妊婦463人に対し、463人に母子健康手帳を交付し、その際保健師が面接を行い、相談や指導を行った。(全数面接)	A		健康課
2	パパママクラス	妊婦及び配偶者等を対象に相談指導を実施し、母子保健に関する正しい知識の啓発と普及を図ります。	継続	これから赤ちゃんを迎える妊婦及びその家族に対して、保健センターにて年間6コース(1コース5日制)行い、参加人数は延べ428人であった。	A		健康課

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
4	低出生体重児の届出・未熟児訪問指導	未熟児の育児上重要な事項について、家庭訪問のうえ、適切な指導・助言を行います。	継続	低出生体重児の届出受理件数は35件あり、34件に訪問指導を行った。そのうち、未熟児は11人あり、全員に訪問指導を行った。	A		健康課
6	子育て教室	子どもの保護者を対象に子育て教室を開催し、知識の啓発と普及を図るとともに相談指導の充実に努めます。	継続	すくすくベビークラス6コース(ねんねのころ3コース、おすわりのころ3コース)を実施し、発育発達についてや、遊び方、事故防止などについての講義を行った。105組の参加があった。 離乳食教室を12回行い、離乳食開始時期の話、試食などを行った。105組の参加があった。 講演会を2回行った。テーマは楽しく食べようキッズごはん(幼児食教室)、どう向き合おう?いやいやキッズ(子どものいやいや期への対応)で合わせて27組の参加があった。 各教室を実施する際には相談を受ける時間を設け、個別の相談にしている。	A		健康課
7	育児相談	乳幼児の保護者を対象に育児相談を実施します。	継続	保健センターと子ども応援館にておおむね月1回ずつ育児相談を行った。 22回実施し、相談人数延べ276人であった。	A		健康課
8	心理相談	一歳六か月・三歳児健康診査時に子ども相談を実施します。	継続	臨床心理士、臨床発達心理士による相談を24回実施した。相談実人数は24人、相談延べ人数は30人であった。	A		健康課
9	三歳児経過観察健康診査(子どもグループ)	幼児がグループで遊ぶ機会を設け、成長度、発達度等を観察し、適切な指導を行います。	継続	グループ遊びを通して発達の伸びを期待する事業で、臨床発達心理士、保育士、保健師が指導を行う。 月3回保健センターにて実施し、年36回実施した。  参加者 大人 実16人 延べ201人 子ども 実17人 延べ205人  参加した子ども17名のうち、15名については保育園・幼稚園の集団生活につながる事ができた。	A		健康課

基本施策2 子どもや母親の健康づくり

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
1	母子保健連絡協議会	母子保健連絡協議会において、母子保健に関する基本的事項を協議し、母子保健施策の効果的な推進を図ります。	継続	9月と2月に2回実施した。 母子保健の現状報告及び、協議会委員の各立場から問題点等を出し合い協議し、情報共有を図った。	A		健康課
2	母子健康手帳の交付	妊産婦健康診査、乳幼児健康診査の結果及び予防接種の記録等を記載し、後の保健指導等の参考とします。交付時は、保健師が面接します。	継続	妊娠届出をした妊婦463人に対し、463人に母子健康手帳を交付し、その際保健師が面接を行い、相談や指導を行った。(全数面接)	A		健康課
6	産婦健康診査	産婦の疾病等の早期発見、早期治療を目的に三ヶ月児健康診査と同時に実施します。	継続	三か月児健康診査と同時実施し、年12回実施した。 対象者459人中446人受診(受診率97.2%)	A		健康課
8	乳幼児経過観察健康診査	乳幼児健康診査等で要経過観察となった乳幼児を対象に健康診査を実施し、疾病等の早期発見に努め、適切な指導を行います。	継続	12回実施 受診者実数は72人、延べ人数は132人であった。	A		健康課
9	乳幼児発達健康診査	発達の遅れの疑いのある乳幼児を対象に健康診査を実施し、疾病等の早期発見に努め、適切な指導を行います。	継続	12回実施し、受診者実数は26人、延べ人数は54人であった。	A		健康課

基本施策3 食育の推進

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業 進捗評価	25年度C・D 評価の理由・ 課題	担当課 (所管)
1	食に関する相談・指導	妊産婦・乳幼児の保護者を対象に乳幼児の年齢に応じたバランスのとれた食事の作り方、栄養指導を行い、乳幼児期からの良い食習慣づくりや楽しく食事のできる環境づくりなど食に関する学習の推進を図っていきます。パパママクラス、育児相談、乳幼児健康診査時に集団及び個別指導を実施します。	継続	<p>パパママクラス、各種健康診査時、育児相談、離乳食教室等で集団及び個別指導を実施。また、幼児食教室を実施した。</p> <p>参加者数                  パパママクラス117人                  育児相談（保健センター32件、子ども応援館47件）79件                  3か月児健康診査 集団指導449人、個別相談9人                  1歳6か月児健康診査 個別相談38人                  3歳児健康診査 個別相談14人                  経過観察健康診査 個別相談 15件                  講演会（幼児食教室）16組</p>	A		健康課
2	離乳食教室	離乳食教室を開催し、適切な離乳食の作り方、離乳の進め方を指導します。また、指導内容の充実に努めます。	継続	<p>月1回保健センターにて実施、年12回実施し、受講者105人であった。                  離乳食の作り方、進め方について試食などもしながら指導を行った。</p>	A		健康課

施策の方向2 思春期保健対策の充実

基本施策1 思春期保健事業の推進

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業 進捗評価	25年度C・D 評価の理由・ 課題	担当課 (所管)
2	いじめ防止教育の推進	いじめ防止のため関係機関、地域関係者との連携を図るとともに、相談体制の充実、研修・研究の充実を図っていきます。	継続	「福生市サポート会議」における関係機関との情報交換の中で、必要に応じた連携を図った。教師対象の「教育相談研修」において、講師を招聘し、いじめに関する講義を行った。 また、児童・生徒に対して「ふれあい（いじめ防止強化）月間」等で「いじめに関するアンケート等」を実施し、「いじめ防止標語」を作成する等、実態把握といじめ防止並びに改善に対する指導を行った。より丁寧な取組を実施した結果、小学校ではいじめの件数が減少し明らかな改善が見られたが、今後も継続的な指導をすすめていく。 <i>平成25年度教育相談研修開催回数 1回</i>	A		指導室
4	アドバイザースタッフの配置	不登校児童・生徒へのアプローチとして、学生等のアドバイザースタッフを採用し、教育相談補助として活用します。	継続	不登校児童・生徒への対応については、アドバイザースタッフを派遣し、支援を図った。 <i>平成25年度活動時間数 153時間</i>	A		指導室
5	学校適応支援室の活用	学校適応支援室において、不登校児童・生徒の自立を支援します。	継続	不登校児童・生徒の自立の支援を図った。中学校3年生については、進路指導を充実させ、希望する進学先へとつなげた。 <i>平成25年度不登校児童・生徒数 91人 (児童15人・生徒76人)</i>	A		指導室
6	スクールソーシャルワーカーの配置	不登校や問題行動等の学校への不適合状態がある児童・生徒に対する支援を総合的・専門的に行うため、スクールソーシャルワーカーを配置します。	継続	学校及び地域関係機関と連携することによって、保護者に対して有効な働きかけ及び支援を行い、児童・生徒の生活環境の改善及び安定を図った。 <i>配置人数：3人</i>	A		指導室
7	スクールカウンセラーの配置	東京都非常勤特別職のスクールカウンセラーを、各中学校及び小学校2校の学校相談室に派遣し、専門的観点からの相談を行います。	継続	平成25年度から全小・中学校に都スクールカウンセラー配置し、専門的な見地から各学校における教育相談活動の充実を図った。 <i>平成25年度相談件数 959件</i>	A		指導室
9	喫煙防止教室	小学校へ出向き、喫煙が体に与える影響を啓発し、喫煙の防止に努めます。	継続	<i>保健師が市内の小学校へ出向いて喫煙による影響について、実験なども交え講義した。</i> 5回実施 受講者310人	A		健康課

Ⅲ 目標3 子どもの豊かな人間形成を支えるまちづくり  
 施策の方向2 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備

基本施策1 学力の向上、豊かな心や健やかな体の育成

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
3	小学校授業指導補助員の配置	小学校第1学年から第3学年の国語及び算数の授業に指導補助員を配置し、児童の基礎的な学力のより一層の向上を図ります。	継続	授業指導補助員を配置して、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図った。 平成25年度配置人員30人、指導時間13,655時間	A		指導室
11	学校施設の老朽化やバリアフリー化に伴う改修工事や修繕	施設の老朽化及びバリアフリー化に伴う改修・改築工事を計画的に進め、安全で衛生的な学校施設の整備を図るとともに、子どもたちの登下校時などにおける安全対策、不審者に対する犯罪被害防止対策に万全を期する等、あらゆる教育環境の整備に努めます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一中学校便所改良事業を実施 工事費 59,821,545円</li> <li>第三小学校便所改良事業を実施 設計費 1,316,700円</li> <li>通学路の安全点検を10月に実施し、各学校の改善要望箇所の対策を所管部署等に要望した。</li> <li>不審者情報は教育委員会に入った情報を、指導室から学校及び安全安心まちづくり課へ即時に情報提供している。 不審者情報の件数：33件</li> </ul>	A		教育委員会庶務課

施策の方向3 新しい時代に対応した学校づくり

基本施策2 地域ぐるみで子どもを育てる学校づくり

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
1	社会教育関係団体等との連携	公民館・図書館・郷土資料室等の社会教育関係団体等と連携し、内容と指導の充実を図ります。また、地域施設や経験豊かな人材等、多様な教育資源を活用していきます。	継続	様々な技能や知識を持った住民に学習市民指導講師として、総合的な学習等の時間で活用した。 講師人数 27人	A		指導室
2	高等学校教員出前授業の実施	市内高等学校との連携により、教員の相互理解及び生徒の高校生活への適応を図るために実施します。	継続	中学校3校でPTA主催による高等学校の合同進学説明会を行った。また、第二中学校では高等学校教員による出前進学説明会を実施した。 平成25年度 2人	A		指導室

#### Ⅳ 目標4 子育てと仕事を両立できるまちづくり

##### 施策の方向1 保育サービス・放課後児童健全育成事業の充実

###### 基本施策1 保育サービスの充実

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
19	幼稚園における預かり保育の充実	幼稚園における預かり保育の充実を図ります。	継続	通常の教育時間の前後や長期休業期間中に保護者の要請に応じて行う。市内4園で実施。平成25年度実績：延べ12,752人	A		子ども育成課

##### 施策の方向2 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

###### 基本施策2 男性の子育て参加の推進

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
1	パパママクラス(再掲)	妊婦及び配偶者等を対象に相談指導を実施し、母子保健に関する正しい知識の啓発と普及を図ります。	継続	これから赤ちゃんを迎える妊婦及びその家族に対して、保健センターにて年間6コース(1コース5日制)行い、参加人数は延べ428人であった。	A		健康課

#### Ⅴ 目標5 子どもにやさしいまちづくり

##### 施策の方向1 子どもの安全の確保

###### 基本施策2 子どもの犯罪の被害から守るための活動の推進

番号	事業名	事業の内容	取組	平成25年度事業実績	25年度事業進捗評価	25年度C・D評価の理由・課題	担当課(所管)
4	喫煙防止教室(再掲)	小学校へ出向き、喫煙が体に与える影響を啓発し、喫煙の防止に努めます。	継続	保健師が市内の小中学校へ出向いて喫煙による影響について、実験なども交え講義した。5回実施 受講者310人	A		健康課